

With ウィズ

～私たちが私たちに楽しく暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課 生活支援コーディネーター

音川（全市）・高井（中央）・金森（鳴尾）・牧（瓦木）・中川（甲東・甲陽園）・高田（北部）

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

TEL(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 kyoseimachi@n-shakyo.jp

生活支援コーディネーター かつどうトピックス

「スーパーお片づけ隊」 活動中!



「スーパーお片づけ隊」はその活動（ケース）に応じて、職員や専門職、行政等のネットワーク、そして学生や地域ボランティアの協力を得て活動しています。

生活支援コーディネーターが動き出して最初に地域課題を解決するために作った仕組みが「スーパーお片づけ隊」です。開始4年で30件を超えるお片づけを手伝ってきました。ごみや物が溜まってしまった理由は本当に様々です。でも、多くに共通していることは、ご本人自身も一緒に考える機会や片づけるきっかけを、少なからず待っていたことです。これからも、片づけのサポートという関わりをとおして、“地域とのつながり直し”をお手伝いすることを大切に、活動していきたいと思っています。

「スーパーお片づけ隊」に参加して下さる方の登録制度もあります。お気軽に問い合わせください。



生活支援コーディネーター訪問記 “ええもん めっけ”

憩いのサロン ～甲子園2・3番町自治会福祉部主催～

こんにちは！生活支援コーディネーター1年目の金森です！
担当地域を訪問する中で驚いたことがあります。それは…地域の身近な場所につどい場がたくさんあることです！
今回はその中のひとつをご紹介します！

鳴尾圏域生活支援コーディネーター：金森千明

家に閉じこもりがちになるのではなく、近所に出かけておしゃべりできる場があれば・・・。
そんな思いから、概ね月1回、甲子園2・3番町自治会福祉部の方が中心となって町内の自治会館でサロンを実施しています。

「近くにサロンがあつてうれしい」
遠出しにくい参加者が、ぼつりとつぶやかれた言葉です。



↑お茶を飲みながらおしゃべり



→演奏を聴くことも



夏休み、子どもたちを巻き込んだサロンを実施！地域の方がお手玉を100個もつくり、一緒に遊びを楽しみました！



人とのつながりから生まれる思い… 「この町で暮らし続けたい」

地域の中に知っている人がいて、人と人とのつながりの中で暮らしていけたら、きっと自分の町への愛着が生まれてくるのではないかな…。そんな思いを、福祉部の方が話してくださいました。

自分の町の身近な場でご近所の方同士が自然と出会い、楽しく過ごすことができる憩いのサロン。人と人とのつながりを育む、地域にとってなくてはならない場となっています。

共 生 の ま ち づ くり 実 践

その② つながる将棋

将棋 月・水・金
13:00頃からカフェで。
13:30頃から2F フリースペースで
勝負が始まります。
対戦相手募集中です。
小学生、大人 誰でも
参加OKです。
カフェで知り合い大きな輪に
なっています。



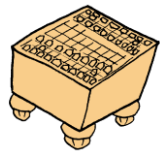
中学生と高齢者が
つながる将棋

共生のまちづくりを実践する地域の
常設拠点として、2016年に誕生した
「地域共生館 ふれぼの」 そこで生ま
れてくるエピソードをお届けします！

最初一枚のホワイトボードから...



カフェで
待ち合わせ
将棋の前の
カフェタイム



1階のふれぼのカフェで知り合った人同士が、週3日、2階のフリースペースで「将棋」をしています。最初は一人の思いからスタート、今は高齢の男性を中心に毎回5～6人が将棋を指しておられます。

一緒に楽しんでいた将棋好きの園児も小学生になりましたが、将棋のある日は学校から帰るとすぐに「ふれぼの」にやってきて仲間に加わります。

地震や台風のときにはお互いの安否を気遣われたり、昨年末には近くの飲食店で「プチ忘年会」を楽しまれたり・・・と、羨ましいような繋がりに発展しています。

「将棋」は子供から高齢者、障がいのある人まで、いろいろな人が繋がることのできるツール（媒体）になります。他にも色々なツールで繋がりが合う様子は次号に・・・お楽しみに！

あったかエピソード 「将棋で元気に」

「ふれぼの」が開館した夏、近所のご夫婦が1階のカフェに相談に来られました。ご主人は将棋がとても好きだけれど、杖歩行であり遠い将棋の集まりには行けないとのこと、これまでも将棋のボランティアさんに自宅に来てもらったこともあるけれど、残念ながら将棋のレベルが合わなかったことを話され、できれば「ふれぼの」で将棋をしたいとのことでした。

さっそく、カフェのホワイトボードに「将棋の相手を探していること」を書いたところ、時々、お茶を飲みに来てくれていた男性が「ぜひ、一緒に」と言ってくださり、2階のフリースペースで将棋をすることに。

その男性はお茶を飲みながら、「脳トレに・・・」と、他のお客さんに折り紙を教わりながら過ごしている方でした。

その輪は少しずつ広がり、今は週3日、カフェでお茶（待ち合わせ）した後、2階のフリースペースにあがって将棋を楽しんでいます。

持ってきた杖を忘れて帰ったり将棋が忙しくなってテイクアウトの利用を見合わせた方も。。

将棋のレベルは違って、みんなで和やかに将棋盤を囲んでおられます。



最初の頃は小学生が来る夕方前に解散していましたが、今は遊んだり勉強したりする子供たちと同じ空間で将棋を楽しんでいます。



ぼくたちはゲームが好きなんだ・・・

地域活動センターふれぼのの取り組みとも空間を共有しています。お互いの存在を自然に意識できるようになってきました。



次のおしゃべり企画は「将棋」にしようか・・・